

罪悪感と向社会的行動との関連

高永 真有

(安田女子大学心理学部心理学科)

問題と目的

罪悪感とは、自分が何か悪いことをしたり、規範から逸脱してしまった時に生じる感情であり、人は罪悪感を低減するために、向社会的な行動など様々な反応を生じさせる(古川・森永, 2013)。また、菊池・有光(2006)によると、罪悪感傾向の高さは向社会的行動と有意な正の相関を示すことが報告されている(久崎, 2006)。

本研究では、対人場面や規則場面で起こる問題行動に対する対応を同調、傍観、および解決と捉えて、その対応によって生じる罪悪感が向社会的行動とどのように関連するか検討すること、また、向社会的行動の重要性の認識と実際の向社会的行動との関連について検討することを目的とした。問題行動に対する対応は、石川(2008)を参考に、同調は問題場面において加害者と同じ行動を一緒にとること、傍観は加害者の行動を見て見ぬふりをする事、解決は加害者の行動をやめさせることとした。

方法

調査対象者: 女子大学生 105 名, 男子大学生 54 名 計 159 名 (有効回答数: 156 名)

質問紙の構成: 罪悪感の測定は、石川(2008)を参考に、対人場面と規則場面について問題場面を設定し(各 3 場面, 計 6 場面)、各場面についてあなたが次のような対応(同調・傍観・解決)をしたらどのくらい罪悪感を感じるか 4 件法で尋ねた。

向社会的行動尺度(大学生版)を参考にし、向社会的行動の実行とその重要性の認識について測定した。社会的に望ましい回答をする方向にバイアスがかかる可能性を考慮し、バランス型社会的望ましき反応尺度を用いた。

結果と考察

探索的因子分析の結果、向社会的行動尺度において、他人項目群、友人項目群の 2 因子を抽出した。罪悪感得点における状況(対人場面・規則場面)×対応(同調・傍観・解決)×性別(女性・男性)の 3 要因分散分析を行った結果、性別×対応($F(2, 302)=8.50, p<.001$)、状況×対応($F(2, 302)=9.62, p<.001$)の交互作用が有意であり、女性は対人場面の同調において最も罪悪感を感じやすいことが示

された(Figure1)。

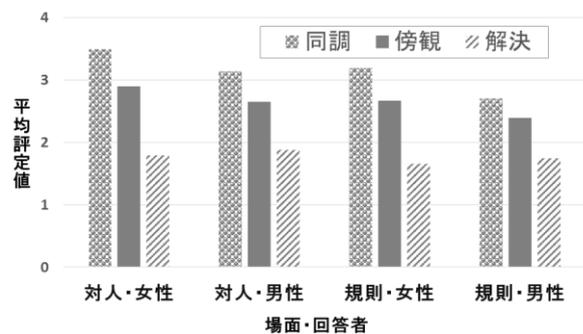


Figure1. 対人場面・規則場面の各対応における罪悪感得点の平均

また、向社会的行動について他人項目群・友人項目群・尺度全体の男性・女性・調査対象者全体のそれぞれを基準変数、対人場面・規則場面の対応(同調・傍観・解決)を説明変数とする重回帰分析を行った結果、女性は、他人項目群・友人項目群・尺度全体において、対人場面の傍観の時に罪悪感を感じる人ほど向社会的行動をとりやすいこと、一方、男性は、友人項目群において、規則場面の傍観で罪悪感を感じる人ほど向社会的行動をとりやすいことが推測された(Table1)。

本研究の結果から、男性と女性によって、向社会的行動に関わる罪悪感が異なることが示唆された。これは、女性と男性の仲間関係や性役割観の違いが関係しているのではないかと考えられる。

Table1 男性・女性・全体別に、向社会的行動(他人項目群・友人項目群・尺度全体)を基準変数、対人場面・規則場面での対応を説明変数としたときの重回帰分析結果(数値は標準偏回帰係数)

【説明変数】		向社会的行動								
		他人項目群			友人項目群			尺度全体		
		全体 β	女性 β	男性 β	全体 β	女性 β	男性 β	全体 β	女性 β	男性 β
対人場面	同調	-.107	-.117	-.003	-.023	.015	-.123	-.110	-.069	-.098
	傍観	.285*	.359*	.094	.165	.350*	-.125	.330**	.433**	.097
	解決	-.098	.036	-.323	.045	-.087	.204	-.037	.045	-.181
規則場面	同調	.066	.122	-.103	.014	.042	.042	.128	.176	-.048
	傍観	-.068	-.192	.140	.120	-.022	.360+	-.025	-.193	.257
	解決	.117	.052	.238	.100	.128	.122	.100	.056	.211
	R^2	.052	.078	.081	.093*	.129*	.198	.109**	.150*	.116

** $p<.01$, * $p<.05$, + $p<.10$

引用文献

- 古川善也・森永康子(2013). 人は罪悪感を感じた時に何をするか—罪悪感喚起状況別の分類— 広島大学心理学研究, **13**, 61–68.
- 久崎孝浩(2006). 向社会的行動に対する恥・罪悪感の機能 紀要 visio, **35**, 1–15.
- 石川隆行(2008). 小学6年生の対人, 規則場面の対応における罪悪感と共感性の関連 感情心理学研究, **16**, 65–72.